

全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」検討事例：奈良県 三郷町

◆コンセプト：全員が主人公！みんないきいき！ インクルーシブ FSS35キャンパス

<目指す将来像>

奈良学園大学三郷キャンパスの移転に伴い、大学跡地を「FSS35キャンパス」とし、「**未来技術**」「**SDGs**」「**共生社会**」を3つの柱に、全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」実現に向けた核となるエリアとする。さらに、

- ・ICTの活用等**未だ技術**を用いたエリアの利便性向上等に取り組む。
- ・**SDGs**未来都市として、基本理念である「誰一人取り残さない社会」を基に、年齢、国籍、人種、障がいの有無に関係なく、全ての人がいきいきと遊び、学び、働き、生活し、活躍し、交流するインクルーシブ観点から**全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」**を創造する。
- ・「**地域共生社会**」の実現に向けた「**重層的支援体制整備事業**」を実施する。

奈良学園大学三郷キャンパス跡地活用計画 (各施設で取り組む内容は右記参照。)



- 健康交流ゾーン**
(1号館、2号館、3号館及びテニスコート等)
健康増進を図る事業を通して高齢者や障がい者の居場所づくりや、健康相談の実施等、施設利用者及び住民の健康・交流に資するゾーン
- 教育研究ゾーン**
(5号館・6号館・7号館)
乳幼児から成人までを対象とする教育とそれに伴う研究を行うゾーン
(施設利用者や地域住民の交流につながる提案も可能とする)
- 産業振興ゾーン**
(10号館)
産業の振興として、サテライトオフィスを整備し、町内の雇用や起業の推進を図るゾーン

- FSS35 スポーツパーク**
- ・スケボー・BMXパーク
 - ・テニスコート 2面
 - ・バスケットコート 1面
- サテライトオフィス**

【整備スケジュール(概要)】

- ・令和4年3月31日に大学より譲渡
- ・令和4年度、整備工事
- ・工事完了後、順次開設、運営

事業者の提案内容一覧

提案施設	提案内容(概要)
1号館	・サービス付き高齢者住宅等
2号館	・カフェテリア ・交流・体験型ミュージアム
5号館	・障がい者、高齢者の就労支援施設 ・保育士・介護福祉士の専門学校等 ・海外国立大学のサテライトキャンパス
6号館	・日本語学校
7号館	・カフェ併設図書館 ・ボードレス・アートギャラリー

基礎データ

- ・人口：22,628人(令和4年4月1日)
- ・面積：8.79km²
- ・第1期総合戦略により「CCRC」の推進を掲げる。
- ・平成29年度～厚生労働省委託事業「生涯現役促進事業」を実施。
- ・令和元年7月 SDGs未来都市に選定
- ・第2期総合戦略により「生涯活躍のまち」の推進を掲げる。
- ・令和3年度より、「重層的支援体制事業」の開始(移行準備中)

◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

「交流・居場所」

【当面の取組内容】(2023年頃)

- 様々な福祉事業所、専門学校、日本語学校、サテライトオフィス、スポーツパーク、食堂、ブックカフェ等を整備し、幅広い世代や障がい者や外国人も集まるエリアづくりを実施
- 学習支援等を通し、子どもの居場所づくりを実施

【将来的な取組内容】(2023年頃)

- カフェテリアや食堂を障がい者と高齢者が一緒に運営できる仕組みをはじめ、エリア利用者が交流できる機会の創出

「活躍・しごと」

【当面の取組内容】(2023年頃)

- 民間事業者による高齢者、障がい者の就労支援の実施
- サテライトオフィスの整備で、利用企業による雇用の創出、また子育て・介護による時間的制約がある方にテレワークの推進

【将来的な取組内容】(2024年頃)

- 地域内の雇用創出に伴う転出者の減少
- 障がい者、高齢者の一般就労の促進
- 仕事以外の役割の創出

「健康」

【当面の取組内容】(2023年頃)

- 高齢者・障がい者の各施設入所者の健康増進を図るとともに、訪問看護・通所介護により、地域高齢者の健康支援も行う。
- ナーシングホームにより、医療・介護の両方のケアが必要な方の支援を行う。
- スポーツパークやフィットネスジムを通して、住民の健康増進を図る。

【将来的な取組内容】(2025年頃)

- 心身両面における健康に加え、人との関わりによって満たされることも重要であり、人との関わり(交流)を増やすことに取り組む。
- 看護小規模多機能施設を誘致し、地域高齢者、医療的ケア児の支援も行う。

「住まい」

【当面の取組内容】(2023年頃)

- サービス付き高齢者向け住宅による高齢者の住まいを確保

【将来的な取組内容】(2025年頃)

- 高齢者、障がい者両方の機能を有する共生型グループホームの設立
- 専門学校等学生の住まい確保

コミュニティへの人の流れ

【当面の取組内容】(2023年頃)

- 施設利用者だけでなく、町内外の方にも利用いただき、関係人口の増加を図る。特に、サテライトオフィスやスポーツパークを積極的に周知する。
- エリア内利用者が交流できる環境を構築するため、イベント等の企画により、交流できるきっかけを本町で行い、将来的にはエリア利用者が自然に交流できる関係を築く。

その他特徴的な取組

【当面の取組内容】(2021年より)

- 2021年より、高齢・障がい等の属性、世代を問わず、複合的な課題を抱える世帯を支援する「重層的支援体制事業」の実施。
- 地域BWAやローカル5GをもとにICT・IoT技術の積極的な活用し、エリア利用者の利便性・利用満足度の向上を図る。
- 地球環境保護の重要性に鑑み、ボードレスコミュニティであるこのエリアを脱炭素先行地域とすることで、環境教育の実践を図る。